



パーティー | 条約の規定 ▾ | アップデート | コンタクト

フィンランド：パッケージ、フレーバー、屋外での喫煙に関する規制強化



写真提供：Hannu Huhtamo

共和国大統領が 2022 年 4 月 13 日に修正案を承認したため、フィンランドのタバコ法は強化されました。新しい修正案には、タバコ製品、電子タバコ、詰め替え容器のユニットパケットからのブランドイメージとロゴの削除が含まれています。これらの製品の簡易包装の。最終的な目的は、特に若者に対するたばこ製品の魅力を減らすことです。

2016年に採択されたタバコの特徴的なフレーバーとアロマ、自分で巻くタバコ、および電子タバコ用のリキッドの使用を禁止する既存の禁止事項に加えて、タバコ法は、消費者がタバコ製品自体のフレーバーを変更するために使用できる製品にまで禁止を拡大しています。フレーバーカードなど。

さらに、新しい規則では、水泳シーズン中（5月の初めから9月の終わりまで）の公共のビーチ、遊び場、および児童福祉法に基づいて18歳未満の人をケアする施設の屋外エリアでの喫煙が禁止されています。精神保健法。

製品の販売量に基づく年間監督手数料は、たばこ製品を製造および輸入する事業体に導入され、国家福祉および健康監督機関に支払われます。これらの料金は、製品管理を強化するために使用されます。

改正は2022年5月1日に発効しましたが、2023年5月1日に発効するプレーン/均一包装に関する規則は例外です。パッケージと製品のレイアウトに関連する技術的詳細に関する個別の規定が法令。フレーバーの禁止に関連して、2023年4月30日まで、すでに店舗や倉庫にある製品の販売が許可されています。

フィンランドのタバコ法の目的は、タバコとニコチン製品の使用を終わらせることです。2030年未までにこれを達成するためには、体系的かつ意図的な行動を継続および発展させ、新しい行動を採用する必要があります。これが、2022年2月に社会問題保健省がタバコとニコチン政策の策定のための新しいワーキンググループを任命した理由です。作業部会は、2023年1月末までに、たばこおよびニコチン製品の使用を終了し、禁煙住宅を改善し、たばこおよびニコチン製品の最低購入年齢を18歳から引き上げることにする提案を提示します。

詳細については、次の連絡先まで
お問い合わせください。

ドキュメント

- [付録: 2030 年までにタバコとニコチンのないフィンランドに向けた次のステップ](#)
- [2016 年たばこ法の改正 \(2022 年 4 月 13 日\) \[フィンランド語\]](#)
- [たばこ製品および類似製品とその小売包装の表示およびその他の表示に関する社会問題保健省令、296/2022 \(2022 年 4 月 26 日\) \[フィンランド語\]](#)

関連記事

- [第6条](#)
- [第8条](#)
- [第9条](#)
- [第11条](#)

関連当事者

- [フィンランド](#)



[資力](#)

[連絡先](#)

[雇用](#)

[サイトマップ](#)

[大会](#)

[プロトコル](#)

[事務局](#)

[条約文書](#)

[調整プラットフォーム](#)

[報告](#)

[メディアセンター](#)

[索引](#)

[トピック](#)